

166
21

宿利原小学校に 関係する数字



全校児童数21名の宿利原小学校の子どもたちが、たった一年間で166枚もの賞状を手に入れました。

子どもたちの手にしている賞状を見ると、体育に図工、音楽、書道、作文と多方面にわたる色々な賞を受けていました。ひとり平均8枚の賞状、先生たちもびっくり大満足の数です。

なぜ?どうしてこんなにもらえるんだろう。答えは、「21人みんなが主役、だから全員、全校朝会で表彰されよう。」この目標に子どもたち・職員が一丸となって取り組んだ結果、166枚もの賞状が宿利原小学校に届いたのでそうです。

21人の中でも一番多い14枚の賞状を手にした小脇梓さん(6年)は「ピアノコンクール入賞とどうしても欲しかった衛生週間ポスターの会長賞が一番うれしい。こんなにももらえるとは思ってなかったので自分でもビックリ。」同じく14枚の賞状を手にした牧原弘明さん(5年)は「14枚全部がうれしい、その中でもお兄ちゃんの記録を破ったの町陸上記録会5年男子走り幅跳び一位かな、まだまだもっともらいたい。」と話してくれました。写真を撮るときに全員が自信に満ちた表情をしていたのがと

ても印象的で、校長先生によると自信が付き何事にもチャレンジする精神が芽生えてきたそうです。

今後とも宿利原小学校のさらなる活躍に期待します。

校長先生の眼



宿利原小学校
校長 園田幸一郎

全校児童21名の小規模校でありながら、本当によく頑張ってくれました。

本校は少ない人数であるが故に、あらゆる行事や学習活動、児童会活動では、全ての子どもが主役です。その子どもたちが自信をもっと深めていくよう、一人一回以上は表彰のチャンスを作ろうと思い、いろいろな作品応募にチャレンジさせました。

むし歯予防デーのポスターを皮切りに、学習時間に取り組んだ絵や習字、スケッチ大会や夏休みの絵画教室で描いた作品を先生方の指導の下、各種作品展応募に全校一体となって取り組みました。

受賞を知らせたときや表彰状を渡すときの笑顔がとても素敵で、目標達成できて良かったと思いました。結果的には他の教科等にも波及していきました。(例えば町陸上記録会や水泳記録会での頑張り、作文や俳句等の受賞、ピアノコンクール入賞など)

子どもたちの頑張りを前に、どの子にも無限の可能性があるということを改めて感じたところでした。